

2021年度 決算参考資料

2022年5月



1. 2021年度損益の状況

(単位：百万円)

項 目	No.	2020年度	2021年度	前年比	備 考	
業務粗利益	1	27,125	28,153	+1,028		
資金利益	2	23,528	24,688	+1,160	貸出金平残	+4.52% (+880億円)
資金運用収益	3	23,943	25,056	+1,113	貸出金平残【除く政府系】	+4.25% (+710億円)
貸出金利息	4	18,700	18,712	+12	貸出金利回り	0.969% ⇒ 0.928% (△0.041%)
					貸出金利回り【除く政府系】	1.120% ⇒ 1.075% (△0.045%)
有価証券利息配当金	5	4,989	5,796	+807		
その他	6	252	547	+295	預金等平残	+7.2% (+1,879億円)
資金調達費用	7	414	367	△47	預金等利回り	0.012% ⇒ 0.010% (△0.002%)
預金等利息	8	312	290	△22		
その他	9	101	77	△24	総資金利鞘	0.16% (前年比 +0.05%)
役務取引等利益	10	3,585	4,154	+569		
役務取引等収益	11	7,325	7,652	+327	法人ビジネス関係 +315、預かり金融資産 +163	
" 費用	12	3,739	3,498	△241		
その他業務利益	13	11	△689	△700		
経費	14	20,575	19,964	△611	人件費 △498、物件費 △86、税金 △27	
実質業務純益	15	6,549	8,188	+1,639		
信用コスト	16	2,592	3,454	+862	大口要因有り	
一般貸倒引当金繰入額	17	△451	△456	△5	信用コスト	= 0.17% (前年比+0.04ポイント)
個別 " "	18	2,895	3,831	+936	貸出金平残	
債権売却損等	19	149	78	△71		
貸倒引当金戻入益 (△)	20	-	-	-		
その他の臨時損益	21	△191	1,909	+2,100	株式等関係損益+861、退職給付△1,218	
経常利益	22	3,765	6,643	+2,878		
特別損益	23	△311	△286	+25	+要因：固定資産減損等 △540、△要因：固定資産処分益△515	
税引前当期純利益	24	3,454	6,356	+2,902		
法人税等・法人税等調整額	25	1,137	2,316	+1,179		
当期純利益	26	2,316	4,040	+1,724		
対顧客利益 (4-8+10-14)	27	1,398	2,612	+1,214		

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

2. 対顧客利益の推移

2期連続の黒字

(単位：百万円)

項目	No.	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
			前年比		前年比		前年比		前年比
対顧客利益 (2+5-8)	1	△ 1,731	+676	△ 239	+1,492	1,398	+1,637	2,612	+1,214
預貸金利息	2	18,240	+228	18,058	△ 182	18,388	+330	18,422	+34
貸出金利息	3	18,559	+116	18,379	△ 180	18,700	+321	18,712	+12
預金等利息	4	319	△ 112	321	+2	312	△ 9	290	△ 22
役務利益	5	2,271	+14	2,956	+685	3,585	+629	4,154	+569
役務収益	6	6,246	+173	6,876	+630	7,325	+449	7,652	+327
役務費用	7	3,974	+158	3,919	△ 55	3,739	△ 180	3,498	△ 241
経費	8	22,242	△ 434	21,253	△ 989	20,575	△ 678	19,964	△ 611
人件費	9	12,039	△ 474	11,505	△ 534	11,221	△ 284	10,723	△ 498
物件費	10	8,862	+109	8,465	△ 397	7,970	△ 495	7,883	△ 86
税金	11	1,339	△ 70	1,282	△ 57	1,385	+103	1,358	△ 27

※対顧客利益：預貸金利息＋役務利益－経費

3. 業務純益補足説明

(単位：百万円)

項目	No.	2020年度	2021年度	前年比	備考
業務純益 (2+12)	1	7,001	8,644	1,643	
実質業務純益 (3+11)	2	6,549	8,188	1,639	
コア業務純益	3	6,446	9,563	3,117	
資金利益	4	23,528	24,688	1,160	貸出金利息+12、有価証券利息+807
役務取引等利益	5	3,585	4,154	569	預かり金融資産、法人ビジネス等
その他業務利益【除く国債等関係損益】	6	△ 91	685	776	
外国為替売買損益	7	22	57	35	
その他	8	△ 114	628	742	金融派生商品収益等+622
経費 (△)	9	20,575	19,964	△ 611	
コア業務純益 (投信解約損益除く)	10	6,294	9,307	3,013	投信解約損益 2020年度：152、2021年度：256
国債等関係損益 (5勘定戻)	11	103	△ 1,374	△ 1,477	外貨建外債△997、債券ペアファンド△309
一般貸倒引当金繰入額 (△)	12	△ 451	△ 456	△ 5	
臨時損益	13	△ 3,236	△ 2,001	1,235	退職給付△1,218
うち 株式等関係損益 (3勘定戻)	14	579	1,440	861	株式投信+789
うち 与信費用【除く一般貸倒引当金】	15	3,044	3,910	866	大口要因有り
経常利益 (1+13)	16	3,765	6,643	2,878	

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

4. 増減益要因分析表（前年度対比）

（単位：百万円）

	2020年度	2021年度	前年比	増減要因
経常収益	33,159	36,021	+2,862	+要因：貸出金利息+12、役務収益 +327、株式等売却益 +946、有価証券利息 +807、 △要因：債券売却益等△233
経常利益	3,765	6,643	+2,878	+要因：対顧客利益+1,214、退職給付△1,218 △要因：信用コスト+862
うち				
預貸金利息収支差	18,388	18,422	+34	
貸出金利息	18,700	18,712	+12	増減要因分析：残高要因+829、利回り要因△816
△ 預金等利息	312	290	△ 22	増減要因分析：残高要因+21、利回り要因△43
役務取引等利益	3,585	4,154	+569	
役務取引等収益	7,325	7,652	+327	法人ビジネス関係 +315、預かり金融資産 +163
△ 役務取引等費用	3,739	3,498	△ 241	
市場部門	5,173	5,128	△ 45	
有価証券利息配当金	4,607	5,281	+674	外貨建外債+254、投信 +316
債券等売却損益	785	56	△ 729	株式投信+789、外貨建外債△997、外債投信△281、債券ペアファンド△309
特定金銭信託	12	11	△ 1	
外貨調達コスト	231	219	△ 12	
子会社配当	382	516	+134	
△ 経費	20,575	19,964	△ 611	人件費△498、物件費 △86、税金 △27
△ 信用コスト	2,592	3,454	+862	大口要因有り
△ 退職給付（過去勤務・数理差異償却）	1,000	△ 218	△ 1,218	
その他	474	1,621	+1,147	金融派生商品収益等+622、日銀預け金利息+306
特別損益	△ 311	△ 286	+25	+要因：固定資産減損等 △540、△要因：固定資産処分益△515
税引前当期純利益	3,454	6,356	+2,902	
法人税等・法人税等調整額	1,137	2,316	+1,179	
当期純利益	2,316	4,040	+1,724	

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

※要因は主なもののみ記載しております。

5. 経常収益・利益の推移

【単体】

(単位：百万円)

	経常収益		経常利益		当期純利益	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
2022年3月期	36,021	2,862	6,643	2,878	4,040	1,724
2021年3月期	33,159	△317	3,765	△468	2,316	5
2020年3月期	33,476	△5,495	4,233	983	2,311	△319
2019年3月期	38,971	△4,789	3,250	△8,028	2,630	△9,967
2018年3月期	43,760	252	11,278	7,884	12,597	9,738
2017年3月期	43,508	△4,812	3,394	△2,059	2,859	△359
2016年3月期	48,320	7,449	5,453	△204	3,218	△48
2015年3月期	40,871	△1,129	5,657	△1,792	3,266	△1,688
2014年3月期	42,000	167	7,449	1,873	4,954	2,772
2013年3月期	41,833	2,098	5,576	△1,679	2,182	△522

経常収益：2018年3月期以来4期ぶりの増収

経常利益：2020年3月期以来2期ぶりの増益

当期純利益：2021年3月期に続き2期連続の増益

【連結】

(単位：百万円)

	連結経常収益		連結経常利益		連結純利益	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
2022年3月期	43,861	2,708	6,975	2,762	4,076	1,611
2021年3月期	41,153	△247	4,213	△389	2,465	24
2020年3月期	41,400	△5,264	4,602	1,183	2,441	△195
2019年3月期	46,664	7,042	3,419	△52	2,636	△4,014
2018年3月期	39,622	△4,484	3,471	△586	6,650	3,752
2017年3月期	44,106	△4,911	4,057	△2,109	2,898	△344
2016年3月期	49,017	7,107	6,166	△535	3,242	△74
2015年3月期	41,910	△711	6,701	△1,307	3,316	△1,667
2014年3月期	42,621	48	8,008	2,024	4,983	2,765
2013年3月期	42,573	2,091	5,984	△1,765	2,218	△513

連結経常収益：2019年3月期以来3期ぶりの増収

連結経常利益：2020年3月期以来2期ぶりの増益

連結純利益：2021年3月期に続き2期連続の増益

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

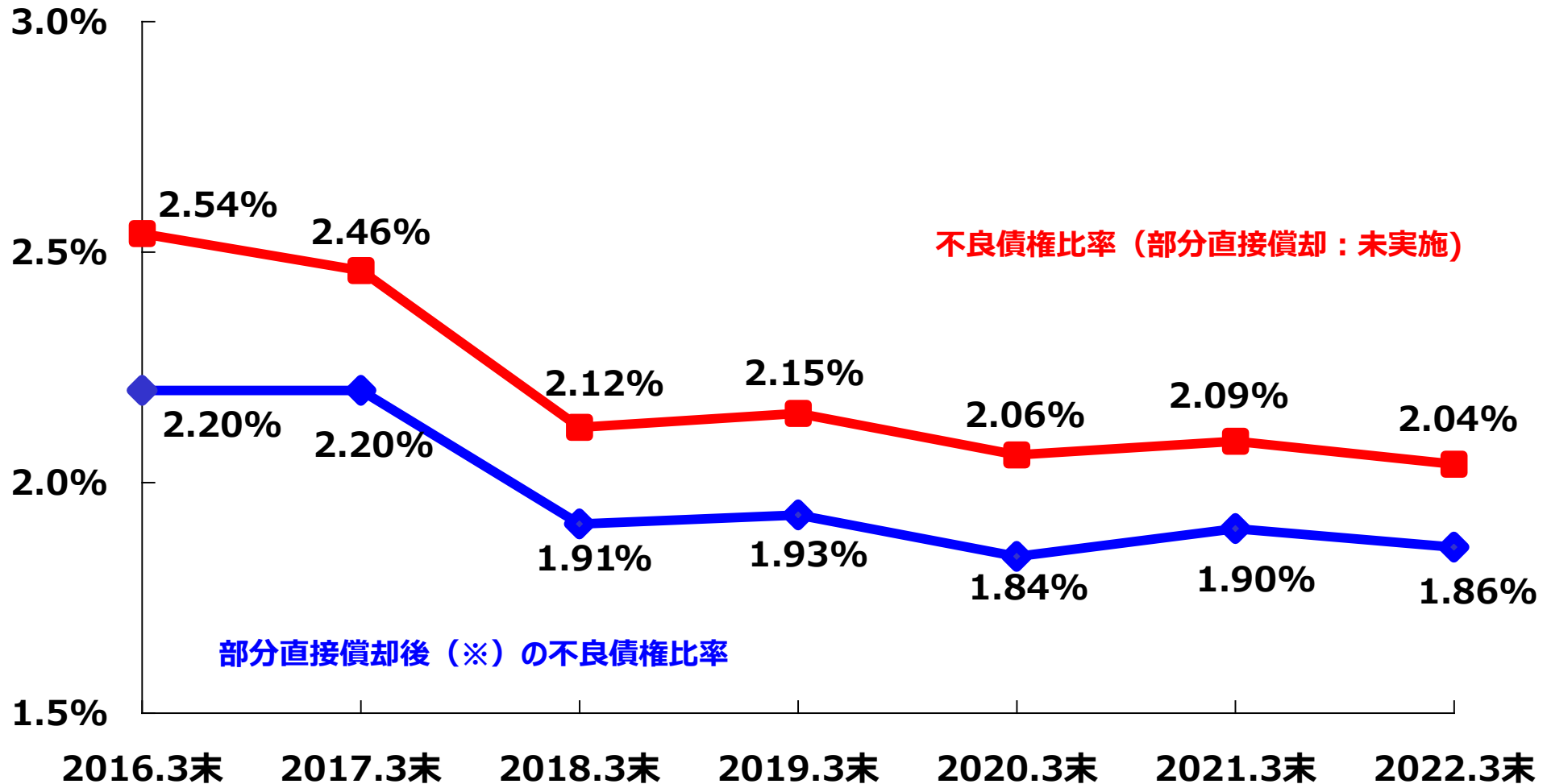
※連結純利益の欄は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を記載しております。

6. 連結損益の状況

(単位：百万円)

	連結実績				連単差 (2021年度)			
	2020年度	2021年度	前年比	備考	①単体	②連結	連単差 (②-①)	連単差の内容
経常収益	41,153	43,861	+2,708	◇増加要因 ・単体経常収益 +2,862 ◆減少要因 ・子会社売上高 △35 ・連結相殺・調整額の増加 △119	36,021	43,861	+7,840	・子会社売上高 +9,404 ・連結相殺 △1,564 (うち子会社配当 △516)
経常利益	4,213	6,975	+2,762	◇増加要因 ・単体経常利益 +2,878 ・子会社経常利益 +13 ◆減少要因 ・連結相殺・調整額の増加 △129	6,643	6,975	+332	・子会社経常利益 +845 ・連結調整 +3 ・子会社配当 △516
当期利益	2,465	4,076	+1,611	◇増加要因 ・単体当期純利益 +1,724 ・子会社当期純利益 +17 ◆減少要因 ・連結相殺・調整額の減少 △130	4,040	4,076	+36	・子会社当期純利益 +549 ・連結調整 +3 ・子会社配当 △516

7. 不良債権比率の推移



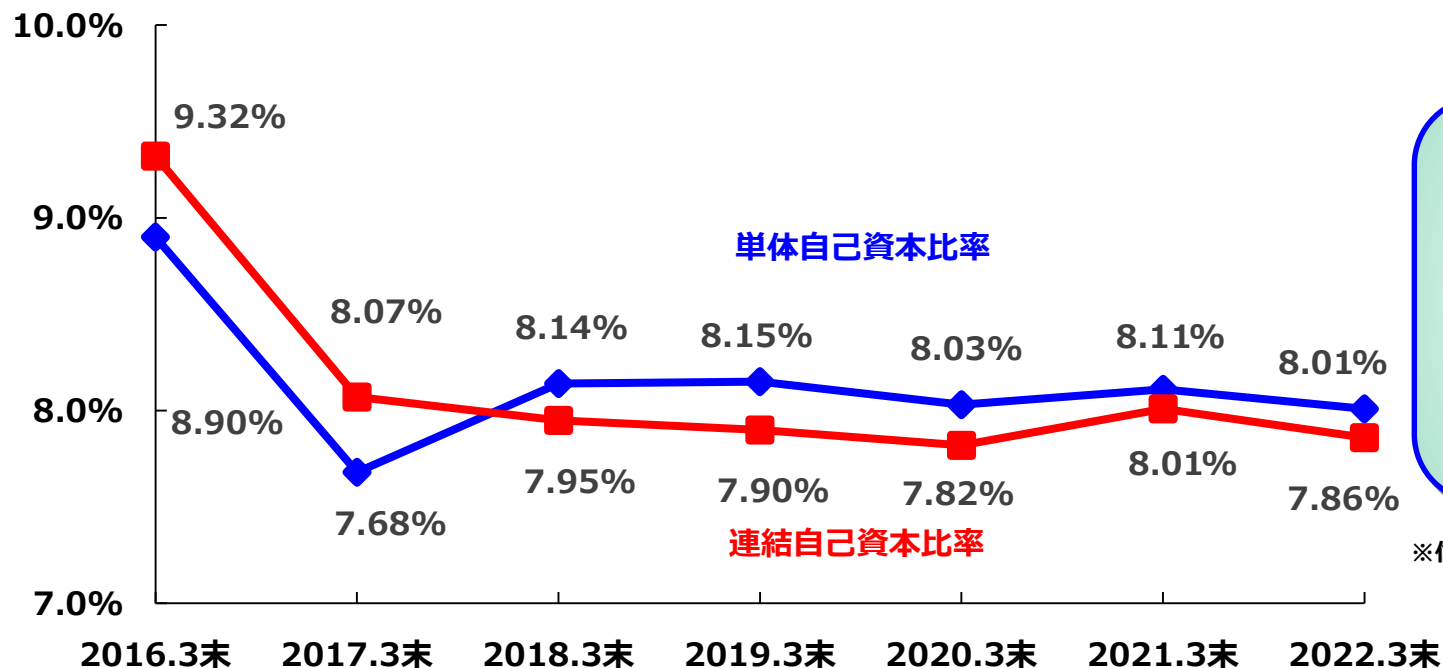
※部分直接償却とは

自己査定により回収不可能又は無価値と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額（IV分類金額）を取立不能見込額として債権額から直接減額すること。

※当行は「部分直接償却」を実施していないため、IV分類金額と同額の貸倒引当金を計上している。

8. 自己資本比率の推移

【単体】		(単位：百万円)			【連結】		(単位：百万円)		
		2021/3末	2022/3末	(2021/3末比)	2021/3末	2022/3末	(2021/3末比)		
自己資本	A	108,966	111,232	+2,266	108,208	109,655	+1,447		
リスクアセット	B	1,342,492	1,387,430	+44,938	1,350,903	1,393,477	+42,574		
自己資本比率 (C=A/B)	C	8.11%	8.01%	△ 0.10%	8.01%	7.86%	△ 0.15%		



【自己資本】

2022年3月期は2021年3月期と比べ、利益の積み上げにより、自己資本が増加しました。

【リスクアセット】

2022年3月期は2021年3月期と比べ、貸出金及び有価証券の増加により、リスクアセットは増加しました。

※信用リスクは「標準的手法」、オペレーショナルリスクは「基礎的手法」。

<資本政策の基本方針>

当行は経営の健全性維持の観点から、内部留保の充実を図り必要な経営体力を維持していくとともに、持続的な株主価値の向上を図る観点から資本効率を意識した資本政策を実施していきます。また、配当につきましては、長期にわたる安定的な経営基盤の確保に努め、安定配当を行うことを基本方針としております。

9. 2022年度業績予想

(単位：百万円)

	単 体				連 結		
	2021年度 実績	2022年度 予想①	前年比	備考	2022年度 予想②	連単差 (②-①)	連単差の内容
経常収益	36,021	36,000	△ 21	【+要因】 貸出金利息 +100 役務収益 +100 【△要因】 国債等債券売却益 △300	43,000	7,000	【+要因】 子会社売上高 +9,000 【△要因】 グループ内取引相殺 △2,000 (うち 子会社からの配当金 △500)
経常利益	6,643	6,100	△ 543	【+要因】 信用コストの減少 △800 【△要因】 国債等債券売却損の増加 900 <u>うちポート良化によるコスト 700織込み</u>	6,200	100	【+要因】 子会社経常利益 +600 【△要因】 子会社からの配当金 △500
当期利益	4,040	4,100	+60	【+要因】 特別損益 +600 【△要因】 経常利益 △500	4,000	△ 100	【+要因】 子会社当期純利益 +400 【△要因】 子会社からの配当金 △500